

# CASBEE神戸ver.2

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.2

{使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.2 / CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.1)}

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)新御崎西住宅建設工事	階数	地上9F
建設地	兵庫県神戸市	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	185人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,640時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月 予定	評価の実施日	2017年5月24日
敷地面積	2,342 m <sup>2</sup>	作成者	アーキノヴァ設計工房 柏本 保
建築面積	610 m <sup>2</sup>	確認日	2017年5月24日
延床面積	4,351 m <sup>2</sup>	確認者	神戸市住宅都市局住宅部住宅建設課長 名倉 正人



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3**

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.2

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.2

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.4

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 CASBEE神戸の重要項目		
<b>バリアフリー計画</b> Q-2/1.1.3 バリアフリー計画 4.0	<b>建築物の耐震性等</b> Q-2/2.1 耐震・免震 3.0 Q-2/2.4 信頼性 2.8	<b>まちなみ・景観への配慮</b> Q-3/2. まちなみ・景観への配慮 4.0
<b>配慮の概要</b> バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準および福祉のまちづくり条例に基づき、施設を整備している。		
<b>配慮の概要</b> 構造規模よりルート3の構造計算を行い、計画通知および構造計算適合性判定に適合させているため、建築基準法・日本建築学会建築工事基準仕様(JASS)・神戸市設計基準を満たしており、十分な耐震性能・信頼性がある。また工事においてもコンクリート強度を割り増すため、より耐震性・信頼性がある建物となる。		
<b>配慮の概要</b> 兵庫運河周辺都市景観形成地域内のため、建物は敷地周辺と調和を図る色合いを採用し、敷地北側および東側に十分な植栽帯を配置した。またゴミ置場を前面道路からは目につきにくい敷地北西側に配置し、エントランスホールの庇形状はノスタルジックの屋根形状をモチーフとする。景観への調和を重視した。		
<b>その他の配慮事項</b>		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される